

ウミガメの死体漂着

田辺・滝内の海岸で



砂浜に漂着したアオウミガメ(田辺市新庄町滝内で)

田辺市新庄町滝内の海岸に、アオウミガメ(メス)の死体が漂着しているのを散歩していた田辺市内の男性が発見した。このウミガメは直甲長約70センチ、直甲幅約55センチ。致命傷になるような外傷は見当たらなかった。

9日、ウミガメの漂着について調べている白浜町臨海、京都大学瀬戸臨海実験所の田名瀬英朋さ

んが訪れ、さまざまな部位のサイズを測った。多名瀬さんが確認した今年の漂着死体は、1月7日(白浜町)に次いで2個体目。

和歌山県や三重県などの沿岸には、たびたびウミガメの死体が漂着することがあり、死因としてはナイロン袋などの誤飲による窒息死、病死、漁網に絡まっての水死などさまざまなケースが考えられるという。